

学校通信

5

2024 MAY

第 252 号

学校生活における大切なお知らせです

学校長からのメッセージ

この春、YMCA 学院高校・大阪本校への入学者は 158 名、全国では約 250 名となりました。YMCA は世界 119 の国と地域にあり、3000 万人の仲間が活動しています。そして、みなさんもその一員、“YMCA ファミリー”です。皆さんが YMCA で過ごして得るこれからの経験は、卒業後も様々な出会いの質を高め、きっと誇れるものになっていくことと思います。

先日、卒業生が校長室に訪ねて来ました。「元気？」と言うと、卒業生は「大学を休学しています」。聞くと、最初は休学ではなく、退学しようと思ったそうですが、本校での「生徒との 3 つの約束」のひとつ、「学びをあきらめない」、その言葉を思い出して「ここで大学を辞めたら学びをあきらめたことになる。それはだめだ」と考え直し、一旦休学として、アルバイトを始めたそうです。

「アルバイトでは YMCA で学んだ表計算（エクセル）が役に立って、想像以上に事務が楽しく、自分にあっていると気が付きました」と。また新たにはじめた活動は、「『そこは YMCA みたいに居心地がいい』と感じました」とのこと。私が、「YMCA みたいって、どんなところ？」と聞くと、「いろんな人がいて、いろんな個性が認められる空間」と言ってくれました。今後は、大学に復学し、週 2 回くらいのペースで通うことに決めたそうです。

このように卒業してからも“3 つの約束”を思い出し、今いる場所で踏ん張ってくれたことに深い喜びを感じました。そして休学中に新しい自分を発見し、新しい居場所も見つけ、希望をもてたこと、本当に嬉しく思いました。

本校と「生徒との 3 つの約束」は、「1.自分を大切にする 2.周りを大切にする 3.学びをあきらめない」。みなさんに「この 3 つのことを大切にしてくれますか」と確認しています。ぜひ、この 3 つを大切にしてほしい。卒業まで、いえ、できればずっとこの約束を大切にし、学びだけではなく、生きることも諦めないでほしい。そう心から願っています。

何ができる、できない、ではありません。あなたが生きることが嬉しい、あなたがそこにいて嬉しい。私たちは皆さんの楽しい人生を願い、神様からもらった一人ひとりのかけがえのない命を大切にしていきます。

(校長 鍛治田 千文)

私の目にはあなたは高価で尊い。私はあなたを愛している (イザヤ書 43 章 4 節)





今月の聖句

「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」

(マタイによる福音書 6章34節)

私が空の星を見る時間帯は、早朝の犬の散歩の時です。人も車もほとんど会うことがなく、何も音が聞こえてこない静かな空間の中で、満天の星を眺める瞬間がとても好きです。

先日、ふと気になって、肉眼で見える一番遠い星はどのくらいの距離にあるのか調べてみました。その星は「カシオペア座V762」という星だそうで、地球から1万6千光年離れたところにあるそうです。1光年は光が1年で進む距離です。キロメートルに換算すると、1光年は9兆5千億kmだそうです。「カシオペア座V762」という星は、1万6千光年離れたところにあるわけですから、9兆5千億kmを1万6千倍した距離のところにあるのです。1万6千年前といえば、日本では縄文時代が始まった頃だそうです。その頃に「カシオペア座V762」を出発した光が、弥生時代や平安時代、鎌倉、室町、江戸時代などの頃も進み続け、明治、大正、昭和、平成と来て、ようやく令和の今、私の目に届いたということなのです。普段、なにげなく見上げている星空ですが、実はとんでもなくすごい光を目にしている可能性があるのだと思いました。逆に、今地球を出発した光が、「カシオペア座V762」に到着する頃、地球は、様々な命は、どうなっているのでしょうか。

星空を見上げながら、神様の御業の大きさを思わせられ、「思い悩むな」という御言葉を思い出した朝でした。

(日本基督教団 河内長野みぎわ教会 福島義也牧師)

